

平成22年度食の安全安心セミナーに関するアンケート集計結果

セミナー参加者：123名 アンケート回答者：59名 回答率：47.9%

1 ご参加いただいた感想はいかがでしたか。

ア とても参考になった	22名 (37.3%)
イ 参考になった	32名 (54.2%)
ウ どちらともいえない	2名 (3.4%)
エ あまり参考にならなかった	3名 (5.1%)
オ 参考にならなかった	—

「ア とても参考になった」の理由

- ・輸入食品に対する検査体制についてよくわかった。評価できるものである。
- ・輸入食品の検疫の体制についての知識を深めることができた。
- ・輸入検査のことがわかった。
- ・輸入品検査の実態が分かった。
- ・輸入食品の検査体制について、モニタリング検査、命令検査、残留農薬についても大変厳しいことが食品モニターとしてもわかりました。
- ・安全と安心の違いについて、安全だから安心でないことが理解できる。
- ・食の安全安心について、今まで余り知らなかった知識をドッサリもらって驚いたり感心したり考えさせられたり、たいへんわかりやすく短時間によくまとまっていた。
- ・ADIについて詳しく説明していただけてよかったと思う。安心の気分になりそうです。
- ・意識が変わった。
- ・改めて食品安全に関する知識が深まった。
- ・厚生省の食品安全の考え方がわかった。

「イ 参考になった」の理由

- ・輸入食品の検査は10%程度とのこと。まだまだ輸入食品は不安で考えさせられた。
- ・食品の検査について（行政＝安全，消費者＝安心のつながり）
- ・思っていた以上に検査が厳しいことがわかりました。
- ・検査のやり方等。
- ・輸入食品の検査体制。
- ・安全に対する行政の仕組みが理解出来た。
- ・食品の安全安心に対しての国，県の対応が少しだけ理解できたことが参考になった。
- ・私個人としては、基本的に国の基準をクリアしたものが流通している，だから安全は保証されていると思っています。今回，具体的な取組を知って参考になりました。

- ・いろいろな計数（グラフ等）で説明がありました。
- ・安全と安心の違い。
- ・安全と安心については同じではない。
- ・輸入食品が少し安心して食べられます。
- ・高いから安全？安いから不安？国産は高いから安全？
- ・ひとりの小若順一さんの著書に代表される危ない輸入食品の問題が報じられていた時代から考えると現在は随分と向上したなとうれしく思います。100%の安全安心はないとはいえ、概ね安心と考え食品の購入は出来るとは感じました。ただし、思いもよらない事件の発生などあり、行政のチェックに期待したい思いです。
- ・消費者も色々な事を考え変えていかなくてはならないと感じた。

2 どのような点が「参考になった」と感じられましたか。（複数回答可）

（上記1で「ア とても参考になった」，「イ 参考になった」と答えた54名が回答）

ア 基調講演の内容がよかった	23名（42.6%）
イ 食の安全安心について新たな知識が得られた	30名（55.6%）
ウ 輸入食品の安全安心確保のために何が求められているかを考えさせられた	24名（44.4%）
エ パネルディスカッションによりさらに知識が深められた	17名（31.5%）
オ その他	—

※複数回答者がいるため、回答者数と合計数は一致しません。

3 セミナーの開催内容（基調講演とパネルディスカッション）についてお聞きします。

ア このままでよい	18名（30.5%）
イ 基調講演にもっと時間をかけた方がよい	13名（22.0%）
ウ パネルディスカッションにもっと時間をかけた方がよい	14名（23.7%）
エ 参加者（聴衆）の意見をもっと取り上げ、議論に参加させて欲しい	8名（13.6%）
オ その他	2名（3.4%）
回答なし	9名（15.3%）

※複数回答者がいるため、回答者数と合計数は一致しません。

「オ その他」の意見

- ・農水産の作り手と農水省の担当者（国内の生産）。
- ・国内流通食品についてもチェック機関として飲食店の方などでチェック出来る方法を検討して欲しい。

4 来年度も開催される場合には、参加したいと思われませんか。

ア ぜひ参加したい	23名 (39.0%)
イ 都合がつけば参加したい	23名 (39.0%)
ウ テーマによっては参加したい	12名 (20.3%)
エ あまり参加したくない	1名 (1.7%)
オ 参加したくない	—
カ どちらとも言えない (分からない)	—

「ア ぜひ参加したい」の理由

- ・参考になることが多い。
- ・参加して知識が深められる。
- ・新しい情報が得られるから。
- ・新しい情報を知るため。
- ・いろいろな方の知見、意見に触れることができる。
- ・食の安全安心について新たな知識を得たいし、安全安心確保のために何が求められているのかを考えてみたい。
- ・少しでも安全対策の知識が得る事が出来れば良いと思います。
- ・食品モニターとして研鑽をつむため。
- ・現役の公務員の参加を希望。

「イ 都合がつけば参加したい」の理由

- ・行事が多いので。
- ・食の知識が得られるため。
- ・一身上の都合によります。
- ・仕事をしているので。
- ・専門家の方のお話を直に聞ける機会は貴重で参加したいと思います。
- ・食についての関心があるから。
- ・いろいろな方の考え方を伺いすることにより、自分の考えだけでは分からないことを知ることが出来た。

「ウ テーマによっては参加したい」の理由

- ・法規中心の話は理解しがたい。輸入現場で苦勞された民間の方々の話が分かりやすい。

5 セミナーの開催テーマとして希望する内容、また、その他御意見等があればお書き願います。

○テーマの希望

- ・衣食住のうち最も生命に密接な関係のある「食」の問題について、今後ともあらゆる角度からのタイムリーな情報提供を期待したい。

- ・生物的防除の将来性についてセミナーを開催して欲しい。かなりの数の天敵昆虫が登録されているが、使用されていないようだが何故なのだろうか。
- ・食品自給率向上のために第一次産業を中心とする食品関連産業の振興をどうするか、とりわけその財政的支援のあり方について。
- ・テーマが漠然としている。行政の統計資料の説明だけではもの足りない。消費者に対して新しい食品添加物のこと、遺伝子食品のことなどアップデートしたことについて啓蒙的なシンポジウムにしてもらいたい。
- ・日本への食品輸出国における食品衛生規則に関して、輸入国（日本）から見た問題点及びその他対策などについて、輸入業者の方の具体例を踏まえた話をお聴きしたい。輸入食品は輸入後の検査も重要であるが、輸入前に輸入国との国内（日本）で起こっている諸問題について、十分に話し合いを行うのがより重要と考える。外国勤務（生活）の長い日本人の食の安全に関する話を聴くのも効果的と思う。
- ・基調講演は今回のようにわかりやすいものを希望します。
- ・日本の農業のあり方、消費者として出来る事。
- ・米について、生産者、農協、販売者、消費者、いま新米として売れる米について詳しく知りたい。（米どころみやぎの食品モニターとして）

○パネルディスカッションについて

- ・パネルディスカッションがとてもよかった。パネラーの方がそれぞれの言葉で具体的なお話をされたのが考えさせられる内容だった。
- ・パネルディスカッションにもう少し深みがほしい。（時間が1時間なので無理かも知れない）
- ・生産者をパネラーとして生産サイドの意見を聞きたい。
- ・生産者の話も聞きたいと思いますのでよろしく。
- ・私がいちばん興味ある内容は東北放送の佐藤氏の話でした。放送の仕方によりいろいろ変化したり、受け止め方の違いなど勉強になりました。佐藤氏の話をもう少し聴きたかったです。
- ・パネルディスカッションでは率直な意見が出されわかりやすかった。講演は論点（主催者側が何を伝えたかったのか）が伝わらない部分もあったが、ディスカッションにうまく生かされていた。
- ・農水省関係者もパネルディスカッションに参加するとなお一層多くの意見のやりとりがあって良いのではないかと思います。
- ・消費者、生産者、流通、行政さまざまな角度からの議論を含めたセミナーを希望します。

○会場について

- ・会場のイスが固い。県庁2階で出来ないか。
- ・会場準備などお世話様でした。
- ・開催された場所は段差があつてとても危ない。
- ・段があり上るのがたいへん。場所を考えるべき。
- ・マイクの使い方をもっと勉強した方が良い。
- ・3時間座るのにはイスが固くて辛い。
- ・机のある会場にしてほしい。

- ・椅子固い為、腰が痛くて困りました。
- ・10時頃からやれるとうれしい。

○その他

- ・食の安全安心は良いとしても、どうして輸入品が安く、国産の物流は高いのかそんな事も話してほしいと思いました。国外の農産物の農薬も検査して安心安全と思います。
- ・食品を輸入（船）する時の技術はどう改良させているのでしょうか？カビの問題など昔から変わらないのは改良されていないからなのですか。
- ・基調講演の説明は目新しいものがなく残念。安全安心と個人の生活との関連がよくわからない。日頃の疑問も解決されなかった。厚労省がもっとしっかり仕事をしていれば、もっと安全安心を輸入食品にもつのではないか。例えば、BSE、口蹄疫などはまだ解決されていない。原因も十分に説明が欲しかった。（公務員の話はやめて欲しい）
- ・残留農薬は日本国内でも、もっと基準の設定を厳しくした方がよいと思う。赤とんぼがいなくなった。たんぼにいなごがいなくなった。